

「地元で働こうかな。」10・20代の若者が地元に残る選択肢を考えるきっかけに 高校生向けフィールドスタディ「locus（ローカス）」を実施

ヤマタグループは、鳥取市雇用促進協議会が推進する高校生向けフィールドスタディ locus（ローカス）にて、八頭高等学校の生徒と探求学習を実施しました。

鳥取市の人口減少に関する現状

現在の鳥取県は人口減少における課題を数多く抱えています。人口統計データや総務省のデータでは、

“総務省がこし（令和5年）1月現在の国内の人口をまとめ、鳥取県の人口は54万6000人あまりで26年連続で減少しました。

こし1月1日現在の住民基本台帳をもとに総務省がまとめた鳥取県の人口は54万6558人で、すべての都道府県で最も少なくなっています。” [注1]

となっており、中でも街の将来を担う若者の都市部への流出による人口減少が著しく、平成22年から令和2年までの間で10代は、58759人から49802人、20代は、56388人から42976人へと減少しています。

【鳥取県10・20代人口推移】

年次	H22	～	H30	R1	R2	人口推移
10代	57,495	～	51,740	50,794	49,802	-7,693
20代	54,941	～	43,881	43,536	42,976	-11,965

[注1]：引用 「NHK 鳥取 NEWS WEB」

<https://onl.bz/C4Rzm2B>

[注2]：参考 「鳥取県人口動向（令和2年）P.2」

https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1238285/sankou_jinkoudoutai.pdf

高校生向けフィールドスタディ「locus（ローカス）」について

「locus（ローカス）」は、鳥取市雇用促進協議会が推進する、高校生向けのフィールドスタディです。高校卒業生全体の約7割を占める進学者層に向けて、地元企業を知ってもらい将来的に地元での就職につなげることを目的とした体験型探求学習の場として提供されています。

参考：「鳥取市地元企業早期ブランディング事業について」

ヤマタグループのローカス実施の様子

ヤマタグループは、体験型探求学習の主題として、鳥取県の課題である「人口減少」「空き家問題」について取り組みました。生徒たちは、事前に当グループへの質問やテーマに対する対策案を考え、来社し、グループワークで対策案の練り上げや、課題の原因、ハードルとなっているものについて深堀を行いました。



「参加した生徒の声」

- ・ 普段は空き家などの地域課題について考えることはなかったが、グループワークなどを通じて原因や対策を練るのは楽しかった。
- ・ これまでは地元に対する関心がなかったが、地元のことをもっと知りたい、地元に残ってもいいかなと思った。

ヤマタグループ概要および地域課題への取り組みについて

ヤマタグループは住宅を中心にリフォーム、不動産、アフターメンテナンス、ライフスタイルショップ（カフェ・雑貨）と事業を展開しております。鳥取の人々の暮らしを総合的に支えられるグループへと成長し続けるため、事業活動や社会貢献活動によって地域社会に貢献することは重要であり、鳥取県の課題である人口減少に対し、事業拡大による雇用の創出や県外からの人材雇用による IJU ターン者の雇用率向上などに取り組んでいます。（2023 年度時点：IJU ターン雇用率 40%以上）

今後も鳥取の社会課題に対する取り組みを推進し、地域に貢献できるよう励んでまいります。

株式会社

【会社概要】

社名：ヤマタホールディングス株式会社

本社所在地：鳥取市千代水 2 丁目 130 番地

代表取締役：山田雄作

事業内容：グループ会社の管理、新規事業企画、太陽光発電事業、人材紹介業、不動産の売買

設立：2015 年 7 月

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

ヤマタホールディングス株式会社 広報担当 鈴鹿 TEL：0857-30-0006 MAIL：info@yamatagr.com